

#### 4 感染症重大事案対策事業

##### ー次世代シーケンサー(NGS)を活用した検査の実施ー

令和2年に引き続き、重症症例であり原因の特定が困難な急性脳炎・脳症及び無菌性髄膜炎やまん延のおそれのある重症感染症における原因病原体の検出率の向上と検査の効率化、医療に役立つ質の高い情報提供のため、NGSを活用した検査を実施した。令和3年は5症例18検体(急性脳炎・脳症2症例(8検体)、無菌性髄膜炎1症例(4検体)、その他の重症症例2症例(6検体))を検査した(令和2年は10症例35検体(急性脳炎2症例(8検体)、無菌性髄膜炎5症例(18検体)、その他の重症症例3症例(9検体))を検査)。

また、例年実施していた埼玉県次世代シーケンサー解析結果評価委員会については、新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑み、実施を見送った。